

調布三田会会報 第 44 号（令和 2 年 8 月 31 日発行）に、パームアイランダーズの記事が掲載されています。

人物発見

星野慎一郎(42 商)

<KBR ソサエティーで過ごした学生時代>

学生時代は 4 年間 KBR ソサエティーに所属した。KBR とは Keio Blue & Red の略。設立は 1946 年(昭和 21 年)と古く、ダンス、タンゴ、ハワイアンで構成された文化団体連盟認定の音楽団体である。設立当初の話として、山の手大空襲で被災されてご静養中の小泉信三先生をお慰めするため、ご自宅にお邪魔してダンスやタンゴを演奏して差し上げたことなどが KBR の歴史として語り継がれている。

体育会並みの厳しい規律や強化合宿での練習等の中で過ごした 4 年間ではあったが、夏休み中の全国各地の三田会主催の演奏会や当時盛んに行われたダンスパーティー、秋の定期演奏会、TBS 大学対抗バンド合戦など楽しい思い出も沢山ある。

卒業後 30 年程経ったある夏の日、仲間達が昔を思い出して楽器を奏でているうち、『50 代のオジソンで何か世の中に役立つことやりませんか…』ということでトントン拍子にバンド結成へと話が進んだ。今でいうオジソンバンドのハシリで、バンド名も<パームアイランダーズ>と決まった。お年寄りの福祉問題が他人事とは感じられない世代でもあり、高齢者施設を専門にしたボランティア演奏。ゆったりと優しいハワイアンのリズムが、お年寄りの癒しに繋がったようだ。

出張・出前バンドとして新聞・TVで紹介されるようにもなり、今では年間 20 回以上のお誘いがかかるようになった。バンドのコンセプトは 生きがい、友情、感動 そして 感謝！ コロナ騒ぎで当分の活動は中止となり残念だが一日も早く活動の日が戻ってくることを望む限りである。

【西金沢ケアプラザ(神奈川)での演奏会：後列ギターが筆者】

